

午後 試験

問 1

出題趣旨

プロジェクトマネージャには、プロジェクト全体の意識を統一し、プロジェクトの目標を確実に達成することが求められる。

プロジェクト内の連帯意識の形成が不十分なために、メンバ間の対立やプロジェクト内の混乱を招くことがある。連帯意識の形成のためには、参加意欲や価値観の異なるメンバの主体的かつ積極的な参画が必要であり、そのための具体的な活動や仕組み作りが必要となる。また、日常の管理を通じて、形成状況を確認し、連帯意識を維持・向上させることも重要であり、本問はそれぞれの方法を具体的に記述することを求めている。

本問では、論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき組織要員管理に関する知識、連帯意識を形成・維持・向上する能力・経験などを評価する。

問 2

出題趣旨

プロジェクトマネージャには、プロジェクト予算を管理するとともに、問題を早期に把握・認識し、適切な対策を実施することで、プロジェクトの目的を達成することが求められる。

本問は、定期的な費用管理の仕組みを通じて行う管理とは別に、開発の現場で察知した予算の超過につながる兆候、その判断理由、対策を主題としている。対策については、当初に定めた開発範囲、品質、納期などのプロジェクト目標を守ることが重要で、これらを変更する対策は題意にそぐわない。

本問では、論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき予算管理に関する知識、予算の超過につながる兆候を発見する能力・経験などを評価する。

問 3

出題趣旨

プロジェクトマネージャには、予算、納期、品質などを管理するとともに、プロジェクト遂行中に発生する変更要求に適切に対応することによって、プロジェクトの目的を達成することが求められる。変更要求への対応は、変更の内容や発生工程によってはプロジェクトの予算、納期や業務の遂行に影響を及ぼすことがあるので、慎重に取り組む必要がある。

本問は、業務の開始日が決まっている情報システム開発プロジェクトでの変更要求への対応について、業務の開始日までにシステムの開発を完了できない状況で業務を遂行するために検討した内容とその結果、及び検討の際の観点を、具体的に論述することを求めている。

本問では、論述を通じて、プロジェクトマネージャとして有すべき変更管理に関する知識、プロジェクト遂行時の予見能力、調整能力などを評価する。